

令和6年12月定例会

一般質問 ～12人の議員が市政を問う～

※一般質問のタイトル及び質問内容は質問者の責任において作成しています。

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる問題について、議員が市に対して質問を行います。

田村なつ江 議員 P 5

埴田 裕之 議員 P 6

加藤 幸子 議員 P 7

田中 猛夫 議員 P 8

福島 丘泰 議員 P 9

須田 勝 議員 P 10

山内 崇仁 議員 P 6

中澤 功史 議員 P 7

高澤 幹 議員 P 8

角田 喜和 議員 P 9

高野 佳美 議員 P 10

後藤 弘一 議員 P 11

一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。各議員のタイトル下の二次元コードからご覧いただけます。



田村なつ江

渋川市の危機管理は

防災対策と新庁舎建設

質問 職員の防災士養成、ハンドブック化したマニュアルの作成を。

情報防災部長 資格の有無に限らず、防災の知識を持った職員の育成に努めます。ハンドブックについては研究します。

質問 市長と副市長が一緒に行動することの、組織としてのリスク管理の見解を問う。

副市長 市のリスク管理と公務の効率性については市長が総合的に判断しています。その意向を受け今後も公務に当たっていきます。

質問 健康への影響が懸念されるPFASの現状と今後の方針は。

上下水道局長 水道水の検査結果は暫定目標値以下です。代替水源や処理施設建設等の検討を含め、基本計画の策定を進めています。

質問 耐震性が低く倒壊危険性もある本庁舎について市長の見解は。

市長 建て替えの必要性は感じています。持続可能な財政運営に努めつつ、市民が直接使用する施設を優先して改修しています。

小中学校の環境教育

質問 プラスチックごみ分別の大切さを授業に取り入れる考えは。

教育長 学校では、環境教育を重視し実践しています。家庭・地域との連携を大切に、実践につながる取り組みを行っています。

補聴器の購入費助成

質問 今年度から開始した補助金の現在の交付件数と交付額は。

福祉部長 12月2日現在、非課税世帯補助額3万円が31件、課税世帯補助額2万円が34件、合計65件で交付額は合計161万円です。



プラスチックごみ分別を環境教育に





山内 崇仁

渋川市の魅力を発信



埴田 裕之

市民のための政策

(目的と手段)



防災対策

質問 避難所開設運営訓練では、

介護施設の方々の参加もあり、車いす対応ができる設備・備品の整備や運営などの課題が見えた。今後の訓練にどう生かしていくのか。

情報防災部長

スロープなど、速やかに対応できるものは対応し、いただいたご意見や振り返りを踏まえ、改善しながら次の訓練につなげていきたいと考えます。

質問 自治会単位で「地域の命を守る避難タイムライン」を作成した際、地元の方々に指摘されたた

くさんの課題の現場確認と対応は。

情報防災部長

避難タイムラインの作成は、地域や個人において、危険箇所の認識や避難ルートを確認することなどが目的です。危険箇所の確認や対策は、今後行う必要があると考えています。

質問 群馬県と協力し、大規模災害時の災害廃棄物処理訓練を渋川市で実施する考えはあるか。

市民環境部長 県による県内各地での訓練が定期的に実施されます。



金島小学校での避難所開設訓練

災害発生時は県の支援が必要となりますので、積極的に県と合同で訓練を行うことを検討します。

質問 小野上地区の公共施設は、

吾妻川と吾妻線の間にあり、ハザードマップの浸水想定区域内にある。ハツ場ダム完成など環境が変わってきているが、国や県と相談しハザードマップを見直す考えは。

情報防災部長

洪水浸水区域は、群馬県が指定し、公表しています。次回の見直しのタイミングには、

環境の変化を考慮した調査となるように、県に要望していきます。

子持公民館の増築を確約

質問 現子持公民館を増築し行政

センターを移転統合する子持行政センター周辺整備は、令和3年を完成予定に6800万円の経費をかけ、交番の新設、道路水道整備などを行ったが、公民館増築を残し令和2年で止まっている。現在

陶芸室や調理室がなく、利用者は公民館増築を心待ちにしているが、

公民館増築の約束は守られるのか。

市長 事業の優先順位や財政事情等を含めた検討を行い、できるだけ早く事業を進めたいと考えます。

質問 念のため副市長に確認する

が、市長の発言に間違いはないか。

副市長 子持行政センター周辺整備事業を進めていくと回答した旨、

市長から確認いたしました。

『渋川インター南』信号機対応

質問 事故防止に要望した歩行者

用信号機の設置に感謝している。

右折専用信号機設置の進ちよくは、

建設交通部長 警察では、中村交

差点立体化の完成後の状況等を見て設置の判断等をするとのこと

で、

増築の準備は整っている

子持公民館北側の増築予定地



増築の準備は整っている
子持公民館北側の増築予定地

一般質問



中澤 功史

持続可能な渋川を創ろう



公共施設の維持管理

質問 公共施設等総合管理計画において延べ床面積を15%削減とする目標は十分妥当と考えているか。

総務部長 現在、削減目標に対して遅れが生じていることから、まずは15%の削減を目指し、可能な限り施設の縮減を進めます。

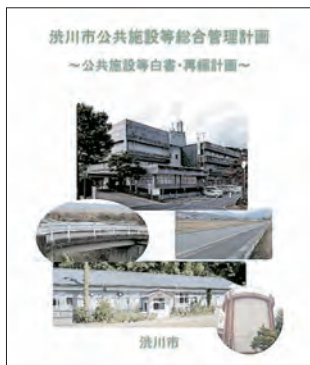
質問 負担の先送りともいえる地方債に頼った施設長寿命化で、「財政負担の軽減・平準化による行政サービスの水準確保」は可能か。

総務部長 施設総量を積極的に縮減し、必要とされる施設の長寿命化を図ることで行政サービスの水準確保につながるものと考えます。

質問 組織として公共施設の維持管理を進め、部局間の連携が取れる公共施設マネジメント体制を構築することを考えているか。

副市長 老朽化する施設の問題を先送りしないためにも、施設の縮減に向け、全庁横断的な組織体制で取り組みたいと思います。

質問 学校の老朽化したプールを修繕する代わりに、水泳授業の他



公共施設等総合管理計画の実施には担当課の連携したマネジメントが必須

校のプール利用や民間への業務委託を段階的に進める考えがあるか。

教育長 実際に水に入る水泳授業は必要であり、移動手段や時間を考慮しながら、複数校や民間施設利用、業務委託等を検討します。

ヤングケアラーへの対応

質問 ヤングケアラーに対応するための支援体制の整備、セーフティネットの構築状況は。

育都推進部長 早期発見、対応が大切であるため、福祉、介護、医療、学校等関係機関と連携を図り、しっかりと支援していきます。



加藤 幸子

PFAで汚染されている
水道水の配水中止を



質問 PFAは40年間で体内に蓄積し、胎児への影響や、がんなどになりやすいことが証明されている。水道水からPFAを除去する浄水器設置が市民から望まれているが、補助金等の検討は。

上下水道局長 水道水は環境省の定める目標値以下であり、浄水器設置の補助金等は考えていませんが、引き続き対策を検討します。

質問 PFAが検出された井戸の中止と代替水源の確保は。具体的な代替水源・工期・費用等は。

上下水道局長 代替水源や処理施設建設等を含めた水源改修の基本計画を策定中です。期間や費用等は計画の手法により変わるため、現時点ではお答えできません。

質問 PFAの汚染源の調査は。

上下水道局長 水源調査は多大な費用と時間を要するため、代替水源の確保や処理施設建設に取り組みたいと考えています。

平和教育について

質問 学校での平和教育の取り組みは。



核兵器廃絶を

教育部長 各小中学校では、平和の大切さを実感し、平和を希求する態度を育成する平和学習を進めています。各教科等の学習や修学旅行などを通じた、系統的な平和学習に取り組んでいます。

質問 物価高騰で広島への修学旅行が困難とのこと。渋Payの1%が学校教育費に使われているが、修学旅行費にも使えないか。

市長 渋Pay1%応援金は、現在学校の図書や備品等の整備に活用しています。まずは補助の必要性を検討していきたいと思っています。

※コミュニティ・スクール：学校運営協議会制度。学校と地域住民が力を合わせて学校の運営に取り組む仕組み

※ワークエンゲージメント：仕事への活力・熱意・没頭など、前向きな心理状態

一般質問



高澤 幹

誰一人取り残さない渋川市



地域の学校のあり方

質問 *コミュニティ・スクールにおける地域の人材活用への課題は。

教育長 学校と地域をつなぐコーディネーター役である地域学校協働活動推進員を育てたり、地域から発掘したりすることが必要です。

質問 小規模特認校は学区外からでも通学できる制度だが、公共交通機関で通えない児童への対応は。

教育部長 交通機関の設置状況によつて対応は変わってくると思いますが、しっかりと一つ一つの事を精査し、対応していきます。

質問 学校再編統合に地域の同意が得られない場合はどうするか。

教育長 地域の声を吸い上げながら、子どもたちにとってより良い学習環境、生活環境を整えられる学校を目指し、取り組みます。

渋Payプリペイドカード導入

質問 10月に販売開始したプリペイドカードの実績は。また、その

実績は期待どおりか。

情報防災部長 発行枚数は、11月30日現在375枚で、想定を超え



有効活用の検討が必要な
国保あかぎ診療所

る販売実績であると考えています。

質問 導入は地域経済の活性化・加盟店の利益増に役立っているか。

情報防災部長 事業開始後の利用実績と加盟店アンケートの結果から、市内経済の活性化と循環に寄与していると判断しています。

検討事項の進捗よく状況

質問 国保あかぎ診療所を診療所以外に活用する検討は。

育都推進部長 診療所施設以外の活用についても視野に入れ、地域の皆さまのご意見を伺いながら、慎重に検討していきます。

人材の確保と育成

質問 職員採用後10年未満で退職した職員数の推移は。

総務部長 令和元年度は5人、令和2年度も5人、令和3年度は11人、令和4年度は5人、令和5年度は10人と人数に波があり、特段、増減の傾向は見られない状況です。

質問 役職段階における女性職員の割合と市の目標は。

総務部長 令和6年度の管理監督職に占める女性職員の割合は、25・6%です。目標値は、令和3年度から令和7年度までの平均値で、25%以上としています。

質問 若年層の退職が続く市役所で職員のワークエンゲージメントは保たれているのか。

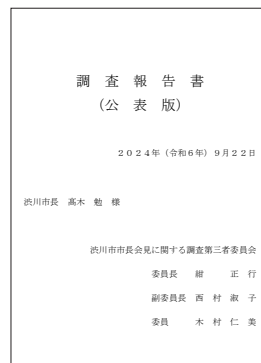
市長 全国的な公務員離れ傾向の中にあって、本市が突出していることはないと思います。職員には、能力を発揮し、おののの生きがいを見いだしてほしいと思います。

質問 市や職員の責任問題に発展する可能性のある事案が頻繁に発生している。このような事案の発



田中 猛夫

市政運営について



渋川市市長会見に関する
調査第三者委員会調査報告書

生を市長はどのようにお考えか。

市長 ここ数年特別増えたことはありませんが、事務執行は、法令に基づき、適正に行われるべきです。職員の資質向上と綱紀粛正を図ってまいりたいと思います。

市長交際費

質問 8月1日に市長交際費の支給基準が改正された。改正点および改正内容は。

総合戦略部長 前副市長を含め過去においても副市長の費用をすべて市長交際費から支出していたため、基準に副市長を明示しました。

一般質問

※社人研：国立社会保障・人口問題研究所



角田 喜和

被保険者証は有効期限
まで使用可能



質問

12月2日から被保険者証の制度が変わり、国民健康保険と後期高齢者医療保険の被保険者証の新規発行が終了となるが、紙の保険証は有効期限まで使える。マイナ保険証を作らなくても医療が受けられることを行政としてもっと大きく市民に知らせるべきでは。

【育都推進部長】

マイナ保険証への制度移行に伴い、市民の皆さまが不安を抱くことのないよう、引き続き、丁寧で分かりやすい制度の周知に努めていきます。

質問

マイナンバーカードは5年ごとに電子証明書の更新が必要だが、保険証の効力はどうなるのか。

【育都推進部長】

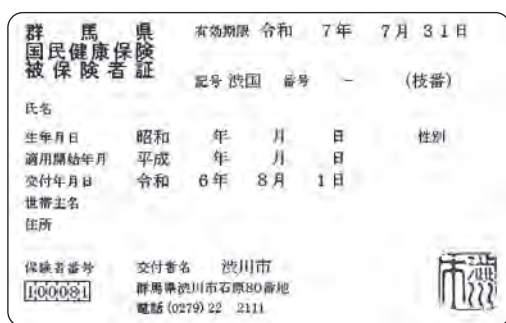
質問

電子証明書の有効期限後、一定期間更新されない場合、マイナ保険証の効力はなくなりますが、市で発行する資格確認書により受診等は可能になります。

職員の働き方改革

質問

職員の健康管理はできているか。有給休暇や代休はしっかり取れているか。職場によっては休暇を申請しても取得できない状況はないか。



紙の保険証は今までどおり使えます

【総務部長】

産業界による受診勧奨やストレスチェック、健康づくり研修等を行っています。休暇はおむね取得できていると認識していますが、取得できない状況がある場合は適切な対応を指導します。

質問

【副市長】

さらに働きやすい職場にするため、ハラスメントへの対応は。人権侵害であるハラスメントから職員を守るため、相談しやすい、風通しの良い環境を整備するなど、安心して働ける職場をつくっていききたいと思っています。



福島 丘泰

笑顔あふれる渋川のために



質問

少子高齢化で人口の自然減が進む中、外国人の転入以外で人口の社会増につながる具体的な取り組みと成果は。

【総合戦略部長】

ふるさと納税のふるさと感謝券を利用し、多くの方が観光や宿泊で市を訪れています。交流人口から関係人口に変わる取り組みを強化し人口増を図ります。

質問

策定を進めている(仮称)しぶかわ未来共創プラン(第3期渋川市総合戦略)の概要を伺う。

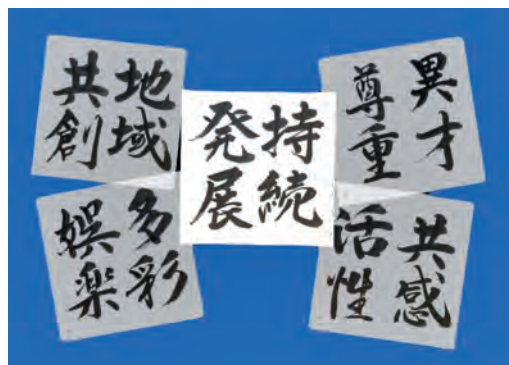
【総合戦略部長】

社人研の人口推計値よりも多い将来人口を目標として設定し、若者・女性に魅力あるまちの実現など、4つの目指す将来像を定め、デジタル技術を活用し、社会課題の解決、魅力向上の実現を目指す計画です。

質問

【副市長】

消滅可能性都市からの脱却に向け、若い女性の流出の防止、渋川市への移住・定住促進の施策についての考えは。



消滅可能性都市からの脱却に人口減少対策は待ったなし！

化、男女間の賃金格差など多くの要因があると言われています。市としても、それらに対応する施策をしっかりと進めていきます。

質問

県は、吉岡バイパスの延伸を「着手する事業」に格上げした。工業誘致候補地として期待の高まる、サントリー榛名工場周辺の開発について市長の見解を伺う。

【市長】

バイパス延伸計画に係る周辺地域の交通便利性を生かした産業立地や、道路を中心とした産業資源の活用方策について、県や近隣町村と共に研究していきます。



高野 佳美

コロナ後の新しい時代に 向けたまちづくり



インバウンド対応の観光地

質問 インバウンド対策の今後の戦略、訪日外国人の受け入れに際しての課題と解決策は。

産業観光部長 外国人に向けた渋川市や伊香保温泉の情報発信の強化が必要ことから、本年度から台湾出身の地域おこし協力隊員を委嘱し、外国人目線から当市の魅力をSNSで発信しています。

質問 インバウンド対応の一つに、小学3年生から配置されるALTを、未就学児から配置し、切れ目のない英語学習の充実を。

教育長 小学校低学年の児童とALTが一緒に活動を行うことや、幼児期からのALTとの交流は、とても貴重であると考えます。

シティブランドの発信

質問 シティブランド、シテプロモーションを活用し移住・定住につなげる今後の施策、方向性は。

副市長 市民が地域に愛着と誇りを持ち住み続けたいという思いを外から評価してもらえようという方向で、移住施策を進めていきます。



アーバンスポーツのできる公園を

市民の健康のための体力づくり

質問 公園の維持管理経費削減につながる公園集約化の考えは。

建設交通部長 今の施設を現状と同じく維持することは困難であり、今後の利用状況、役割や必要性等を総合的に勘案し検討します。

質問 バスケットボール3×3やスケートボード等のアーバンスポーツを楽しめる施設環境の整備を。

建設交通部長 今後の整備や更新、維持をしていく際に、試験的な導入等を含め検討し、市民のニーズにマッチした公園整備に努めます。



須田 勝

市民のしあわせが第一

人口減少対策

質問 将来を見据えて、今からしておかなければならない対策として、婚活イベントを市が主体となって実施する考えはあるか。

育都推進部長 市が主体となるのではなく、補助金を交付する団体とともに、結婚を希望する方へ、出会いの場を提供していきます。

終活介護支援

質問 全国的に介護施設が増える中、市内入所系介護施設数は。また、在宅介護サービス利用者数は。

福祉部長 特養8施設、老健5施設、グループホーム6施設があり、そのほか、有料老人ホームが25施設です。在宅介護サービス利用者は、3187人となっています。

質問 介護施設に入りたくても、経済的理由で入れない市民に利用料金を一部補助する考えはあるか。

福祉部長 市独自の補助は難しいと考えますが、相談を受けた際は、専門職による多角的な観点から、本人にふさわしい支援を行います。

ごみ収集業者に感謝を

質問 いまだにごみ出しマナーの悪い市民がいる。ルール違反の実態と、その違反ごみの対処は。

市民環境部長 市はルール違反のごみが多いと認識しており、その対策として、責任を持って出していたため、指定ごみ袋に氏名等の記入をお願いしています。

質問 収集業者に敬意を示すことについての市の考えと市民啓発は。

市民環境部長 市民の生活を支える欠かすことのできない存在であり、感謝することで地域全体の環境美化につながると考えます。



市民のしあわせが第一



一般質問



後藤 弘一

土砂・倒木・積雪等の対処



撤去・復旧作業の業者委託

質問

防災とは、自然災害に備える予防、応急対策に加え、復旧まで含めた概念である。土砂流出や倒木、積雪時の復旧対応等について、業者に委託する基準は。

建設交通部長

まずは、道路の現地確認を行い、規模に応じ職員による直営作業で対応します。また、道路が封鎖され迂回路が無いなど、早期に除去しなければならぬ状況にあるものは、業者委託を行います。早期の現況復旧に努めています。

質問

令和5年度の撤去・復旧等の業者委託件数、費用の実績は。

建設交通部長

市道は土砂撤去が82件1610万円、倒木が112件2190万円、除雪が出勤延べ日数232日、4440万円です。

産業観光部長

農道は土砂撤去が2件17万円、倒木が3件29万円、除雪が16件93万円です。

市民環境部長

林道は土砂撤去14件253万円、倒木12件86万円、除雪延べ日数23日57万円です。

自治会の状況

質問

土砂流出、倒木、積雪等の対応について、自治会に依頼していることはあるか。

市民環境部長

行政事務等委託契約に基づく道路維持管理の見守りの観点から道路に支障が生じた場合は状況報告をお願いしています。

質問

自治会・個人による除雪等奉仕活動の事例をほかの自治会に広める考えは。

市民環境部長

各地区自治会連合会の中で自治会が行う共助の活動事例など情報の共有を行い、地域の課題解決につなげていきます。



除雪作業

討論

討論とは、議案等を議決する前に議員が賛成・反対の意見を述べることをいいます。

12月定例会では、12日の本会議において、次の議案の議決にあたり賛成議員、反対議員から討論がありました。

▽議案第99号「渋川市民会館ホール舞台照明更新工事請負契約の締結について」

▽議案第101号「渋川市白井宿ふるさと物産館条例の一部を改正する条例」

▽議案第103号「渋川市下水道条例等の一部を改正する条例」

▽請願 受理番号9「渋川市職員が理事に就任している団体への補助金の差止に関する請願書」

討論の詳細は、議会放映システムで配信しています。討論が行われた12月12日本会議の映像はこちらの二次元コードからご覧いただけます。



渋川市議会はインターネット中継しています。また、一般質問の詳しい内容は、会議録検索システムまたは議会放映システムをご覧ください。いずれも市議会ホームページからご覧いただけます。

ホームページアドレス

<https://www.city.shibukawa.lg.jp/gikai/index.html>

パソコンのほか、「スマホ・タブレット」でも見られます。

右の二次元コードを読み取るか、インターネットの検索で「渋川市議会」を検索し、「議会放映システム」をタッチしてください。

